

# 祖母懐公民館

## 『努力目標』

人々が支え合い、一つにつながり、心豊かに活動できる、地域をつくるため公民館が中心となり事業の展開ができるように努力する。

コロナ禍で何ができるか、十分注意を払って企画を進め、未来の子どもたちの希望となり、地域住民の憩いの場となるように進めていきたい。

運営委員については若い人材が不足していますが、各種団体と連携して地域のための行事が出来るよう努力していく事を目標にしています。

## 『運営組織』

執行部・・・館長、副館長、運営委員長、副運営委員長、各部長で構成し、年間事業計画の原案を作成し審議する。

専門部会・・・総務部、体育部、教養部、女性部、広報部、企画部、管理部がありそれぞれの担当事業を企画する。

運営委員会・・・運営委員は館長推薦による28名にて構成され、年間活動計画を協議し運営委員全員で実施する。

## 『活動状況』

### □ 主な事業

環境整備・・・・・・・・・・	館内外の清掃、整備	6月
サマーフェスティバル・・・	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	7月
生涯学習補助事業・・・・・・・・	定光寺・歴代尾張藩主	8/9月
中学校区指導者研修会・・・	東明、古瀬戸、祖母懐公民館	9月
スポーツフェスティバル・・・	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	9月
三世代ハイキング・・・・・・・・	窯垣の小径	10月
そばかいスポーツデー・・・	グラウンドゴルフ大会	11月
運営委員研修旅行・・・・・・・・	蒲郡方面	11月
環境整備・・・・・・・・・・	館内外の清掃、整備	12月
成人式・・・・・・・・・・	古瀬戸、東明公民館と共催	1月
公民館祭り・・・・・・・・・・	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	3月

## 『クローズアップ』 三世代ハイキング

### 1、 経過（概要）

本年度第一回運営委員会において、年間行事について検討され本年度の三世代ハイキングは10月23日（日）に開催すると決定した。内容については従来行っていた東海自然歩道及びねむの森ハイキングは取りやめ、祖母懐公民館を出発し窯垣の小路の散策を行うこととした。

順路は密にならないように10人ずつの班に分かれ5分ごとの出発とした、各班に公民館運営委員が先導する。

### 2、 活動の様子（内容）

9月 3日 ハイキング下見。コースについて検討した。

9月 15日 町内会長会議で、三世代ハイキングの案内及び申し込み用紙の各戸配布を依頼した。

10月 7日 運営委員会において、当日の役割分担

10月 23日 三世代ハイキング

当日は晴天に恵まれ、大人80名 子ども15名の参加者  
事前に決めた班に分かれ、公民館を出発した

行程 公民館⇒にじの丘学園⇒窯垣の小路⇒公民館

全行程 3.4 km 所要時間 約1時間30分

各班参加者のペースに合わせて楽しく歩くことが出来た。

公民館に戻り全員に参加賞を配布し解散した。

### 3、 今後の課題

本年は新型コロナウイルス禍により変則的な三世代ハイキングになりましたが、小さな子どもさん、高齢の方も公民館近辺ということで、皆さん短い時間でしたがとても楽しんで頂けました。

また、従来行っていた、アマゴのつかみ取り、カレーの提供はありませんでした。今後今までのハイキングにするかまだ食べ物の提供ができるか先が分かりませんが、今回の事を参考にして新しい形のハイキングを考えていくことが課題と考えます。



瀬戸市公民館生涯学習補助事業 祖母懐公民館

『国指定文化財 定光寺にまつわる歴史を学ぶ』

開催期間 8月28日・9月4日・18日（全3回）

会場 公民館大会議室・定光寺の見学

講師 瀬戸尾張旭郷土史研究同好会

会長 加藤 恬

全体の主旨 瀬戸の史跡、国指定文化財定光寺にまつわる歴史を学ぶ

延参加者数 80名

学習内容 第1回 講演（定光寺の創建から江戸時代までをみる）

第2回 講演（源敬公廟を参詣した歴代の尾張藩主たち）

第3回 定光寺現地見学

